

うみがめマリンの大冒険



作 おおまち ゆうじろう 絵

マリン誕生

こんにちは

ぼくの名まえは マリンです

ぼくは 大海原をみわたす 白い 白い 砂浜で生まれました

どこまでも 青い海

どこまでも 青い空

さわやかな しお風が ふいています

海そうやさかな そして大好きな クラゲをたくさん食べて 大きくなりました

ぼくの海は とってもきれいで 気持ちいいんだよ



であい 出会い

なつやす
夏休みになると まちに^す住む こどもたちが
ぼくに あいにきてくれました
ぼくたちは まいにち まいにち たのしく^{あそ}遊びました
うみ
海にもぐると すばらしい^{うみ}海の^い生きものたちと であうことができます
せなかの こどもたちは
うみ
海はきもちいいなあ
と よろこんでいました



ぼうけん 冒険のはじまり

なつやす
夏休みも お 終わりに ちか 近づき かえ ひ 帰る日になりました
しろ しろ すなはま 白い白い砂浜から ふね どもたちをのせた船が
ちい 小さくみえています
ふね 船がとおざかるにつれて ぼくは とっても
さびしくなりました
よーし お ぼくも追いかけていこう！
マリンは およぎはじめました



がんばって泳ぐ^{およ}

いっしょうけんめい泳いでいくと たくさんの船^{ふね}にであいました

これが コンテナ船^{せん}か 大きいなあ^{おお}

こんどは貨物船^{かもつせん}がきたぞ！

すっごく速い船^{はや ふね}がきた 客船^{きやくせん}だな

漁師^{りょうし}さんの船^{ふね}もやってきた

こんなに ちかくで みるのは はじめてだ

みんな ぼくの横^{よこ}を 追いこしていきます^お

満天^{まんてん}の星空^{ほしぞら}が キラキラと光^{ひか}って ほんとうにきれいだ

こどもたちは いまごろ どんなゆめを みているんだろう

マリンは 夜^{よる}になってからも いっしょうけんめい 泳ぎつづけました^{およ}



海がよごれてきた

そして 太陽^{たいよう}がかおを出し^だ 朝^{あさ}がきました

あっ みえてきた

たくさんの家^{いえ}や工場^{こうじょう}が みえてきたぞ

あのあたりが こどもたちが 住^すむまちなんだ

早起^{はやあ}きの こどもたちは もう起^おきはじめたかな

もう少^{すこ}しだ

でも 水^{みず}がよごれてきたなあ ゴミもたくさん浮^ういている

前^{まえ}が みえにくく なってきたよ



おなかがへった

なが^{なが} じかん^{じかん} およ^{およ}
長い時間 泳いだので おなかがへってきた
あっ こんなところにも クラゲが いるんだ
よし 食べよう^た
パクッ かみ切れ^きないよ
ゴクッ 何^{なん}だか 味^{あじ}がないなあ
マリンは この変^{へん}なクラゲを いっぱい 食^たべてしまいました



マリンピンチ

もうすぐ こどもたちにあえる
マリンが まちを^め目ざして いっしょうけんめい^{およ}泳いでいる
そのとき！

ウーッ おなかがいたい^{くる} 苦しいよー
どうしたんだ おぼれてしまうよ
もうダメだ！

マリンピンチ

ちょうどそのとき 海上保安庁の^{かいじょうほあんちょう} じゅんしてい^とが 通りかかりました
^{なん}何だか あのかめ おかしいぞ^{くる} 苦しそうだなあ
あっ おぼれているぞ！



たす
助けられる

かいじょうほあんかん
海上保安官のおにいさんが
ぼくを助けてくれて 近くの港まで つれていってくれました
ウーッ いたい！ いたい！
おなかが いたい！
ウーッ 苦しいー！
ぼくはどうなるんだ
もう こどもたちに あうことが できないかもしれない
あたりが ぼんやりとしか みえなくなりました
そして ぼくは 港のちかくの 病院に かつぎこまれました



まちがえて^た食べた

早く^{はや}手^てあてをしないと あぶないぞ

病院^{びょういん}の先生^{せんせい}も しんぱいそうです

ぼくは すぐに^{しゅ} 手じゅつをうけました いたいよー

病院^{びょういん}の先生^{せんせい}が びっくりして ぼくのおなかを のぞいています

ぼくのおなかからは レジぶくろなどの プラスチックごみが
いっぱいできました

そうです ぼくが クラゲとまちがえて おなかいっぱい^た食べたのは
レジぶくろなどの プラスチックごみだったのです

レジぶくろが ちょうにつまって ちょうへいそく という病^{びょうき}気になっていたの
でした

もう^{すこ}少しで 死^しんでしまうところでした



おねがい

しゅ 手じゅつがおわって いのち 命びろい

ぼくは しばらく まちの すいぞくかん 水族館で すごすことになりました

まいにち たくさんの こどもたちが

ぼくに あいにきてくれます

ねえ みんな 海が ゴミや油で よごれていると

あよ 泳いでいるとき まえ 前がよくみえないんだ

レジぶくろは ぼくのこうぶつの クラゲに よくにているから

まちがえて 食べて た 死にそうになったんだ

ぼくだけじゃなく 海の生きものたちは

みんなとっても こま 困っているんだよ



うみどりたちのこと

ぼくの^{とも}友だちの うみどりのピー^こ子も
ある^ひ日とつぜん とべなくな^{くる}って 苦しんでいたんだ
助け^{たす}られた ピー^こ子のおなかは 小^{ちい}さくくだけた
プラスチックのかけらで いっぱいだったんだ
小^{ちい}さいプラスチックの かけらのことを
マイクロプラスチック というそうなんだ
世界中^{せかいじゅう}の海^{うみ}の魚^{さかな}たちも このマイクロプラスチックを
たくさん^た食べているかもしれないんだって
ぼく^{とも}や ぼくの友だちが 大^{だいす}好きな あの白^{しろ}い砂^{すな}浜^{はま}と
きれいな海^{うみ}を 汚^{よご}さないでね



そしてこれから

そのご ぼくは すっかり^{げんき}元気になり 水族館^{すいぞくかん}のおじさんや
 ぼくに あいにきてくれた みんなのおかげで
 生まれこきょうの^う 砂浜^{すなはま}に 帰^{かえ}ることができました
 ぼくが 死^しにそうになった このまちでは 今^{いま}
 海^{うみ}や川^{かわ}を きれいにする 運動^{うんどう}が さかんに 行^{おこな}われています
 そして 世界中^{せかいじゅう}のひとたちが 海^{うみ}を プラスチックごみで
 よごさないような 取^とり組^くみを 始^{はじ}めました
 でもね いつまでも ひとりひとりが
 海^{うみ}や川^{かわ}を たいせつにする 心^{こころ}がけが いちばん^{たいせつ}大切ですね
 ぼく マリンからも 願^{ねが}いします
 「未来^{みらい}に残^{のこ}そう 青^{あお}い海^{うみ}！」